



特定非営利活動法人

医学統計研究会

Biostatistical Research Association

Newsletter No.5 (146)

2016.5.30

初夏を迎えたばかりですが、急に猛暑が襲って参りました。それでも青葉・若葉のこの時期らしい樹木が陽光に輝いています。高齢には、いささか眩しく、自然の若さに対応する体力に乖離を覚えますが、若い仲間の後を追って勤行を進めましょう。

1 (1) 平成 28 年度「監査会議」が以下の次第で開催されました[敬称略]。

日時：2016 年 5 月 27 日（金）。16 時～17 時 30 分

会場：特定非営利活動法人・医学統計研究会オフィス

監事：正法地孝雄・前田 博

理事長：後藤昌司。常務理事：松原義弘

議題：平成 27 年度事業報告・平成 27 年度収支報告・監査報告・理事の役割分担・
会員動向・平成 28 年度事業計画[新規事業を含む]。

(2) 平成 28 年度通常総会が以下の次第で開催されました [敬称略]。

日時：2016 年 5 月 28 日（土）13 時 00 分～14 時 00 分。

会場：豊中市中央公民館

議題：第 1 号議案：平成 27 年度事業報告。

第 2 号議案：平成 27 年度収支報告。

第 3 号議案：監査報告。

第 4 号議案：理事の役割分担。

第 5 号議案：会員動向[平成 28 年 5 月 28 日現在]。

第 6 号議案：平成 28 年度事業計画[新規事業を含む]。



—通常総会でのひとこま—

2 定例会「大阪」2016-5-28および定例研究会〔東京〕2016-5-28の合同例会が以下の次第で開催されました【敬称略】.

日時：2016年5月28日（金）14時00分～16時30分

会場：豊中市中央公民館

プログラム：[座長：松原義弘・坂本 亘]

池田敏広：p 値の議論と確率プロットを用いた群間差の表現法.

吉川隆範：2重べき加法化変換とその性能

尾崎寿昭：形状不変モデルの適合における残差診断

吹谷芳博：多変量データの順位づけ

谷岡健資・下川敏雄：“Randomized Phase II Cancer Clinical Trials (Sin-Ho Jung, 2013)” の紹介

後藤昌司：計画と遂行の過程 2016

課題検討会は「順平」で開催され、11名の方々が参加されました.



—定例会[大阪]でのひとこま—

3 定例研究会 [東京] 2016-6-17を以下の次第で開催いたします。

日時：2016年6月17日（金）

会場：エーザイ(株) 会議室 連絡先：高瀬貴夫 [t2-takase@hhc.eisai.co.jp]

幹事：丸尾和司 [maruo@ncnp.go.jp]・五十川直樹 [Naoki.Isogawa@pfizer.com]

プログラムは6月3日（金）に提示・連絡いたします。

4 特定主題シンポジウム2016「臨床評価におけるデータの蓄積とその活用：メタ・アナリシスと実際」が開催されます [敬称略]。

日時：2016年6月18日（土）10時00分～17時20分

会場：エーザイ(株) 小石川ナレッジセンター101A・B会議室

プログラムについてはwebでも公開していますが、便宜をはかって以下に再掲します。

10:00-10:10	開会の挨拶	宮岸秀明(エーザイ(株))
10:10-11:10	メタ・アナリシスの統計的基礎知識	山口祐介(アステラス製薬(株))
11:20-12:20	Individual Participant Data (IPD)によるメタ・アナリシス	野間久史(統計数理研究所)
13:30-14:20	アカデミアにおけるメタ・アナリシスの実践	阿部貴行(慶應義塾大学)
14:20-15:10	臨床試験データに基づいて安全性シグナルを検出する Bays 流メタ・アナリシス	小谷 基(小野薬品工業(株))
15:20-16:10	ネットワーク・メタ・アナリシスとその事例	藤井陽介(ファイザー(株))
16:10-17:00	医薬品開発における Bays 流ネットワーク・メタ・アナリシスの利用	大浦智紀(日本イーライリリー(株))
17:00-17:20	閉会の挨拶	後藤昌司(特定非営利活動法人 医学統計研究会)

5 連携活動を含む今後の予定を以下にご報告いたします[敬称略]。

(1) サマー・フォーラム2016を以下の次第で開催いたします。

日時：2016年7月16日（土）

会場：茨木市 クリエイト・センター[302会議室]

第1部：9:30～13:00：研究集会。

第2部：15:00～17:00：ボウリング大会。

第3部：18:00～21:00：懇親会

なお、第1部は日本計算機統計学会スタディー・グループ「統計科学における包括モデルの構築と応用」[代表：丸尾和司]との共催です。奮ってご参加いただくと幸いです。

第2部および第3部については「定員」があります。ご参加については早目に事務局へご連絡いただくと幸いです。

(2) 特定主題セミナー2016「臨床評価におけるデータ・マネジメントの過程」を以下の次第で開催いたします。プログラムは既にwebで公開していますが、念のために再掲いたします。参加人数は20名限定ですので、お早めに手続きいただくと幸いです。

日時：2016年8月4日（木）・5日（金）

会場：生涯学習センターばるーん

プログラム：

<8月4日(木)>

10:00～10:05	開会の挨拶	松原義弘
10:05～11:05	データマネジメント概論	横堀 真

11:10～12:20	臨床試験における統計的要件	藤澤正樹
13:20～14:50	CRF 設計・データ入力と入力確認, コード化	服部祐治
15:00～16:40	EDC, データレビュー, 標準化	服部祐治
17:30～	情報交換会	
<8月5日(金)>		
9:30～10:30	DM 計画書/DM 報告書, 信頼性調査, Risk Based Monitoring	服部祐治
10:40～12:40	データ構造の標準化	横堀 真
14:00～15:00	CDISC 標準を運用する際の留意点	相馬 聡
15:00～16:00	SDTM の実践事例の紹介	牧野奈緒
16:10～16:20	閉会の挨拶	後藤昌司

(3) 大分統計談話会・第54回大会が以下の次第で開催されます。

日時：2016年10月13日（木）-14日（金）

会場：富士通大分システムラボラトリ 2F AVホール

特別講演：西尾久美子先生

編集後記：最近の通勤の折に気づくことは、「待たない輩」と「待てない輩」の増えたことである。前者は「待つ能力は備わっているが、待つ意思表示をしない人たち」であり、後者は本来、人間としてもっていなければならない「人間（じんかん）距離」の感覚といった、感性あるいは素養をもたない人たちである。

- 同様のことは「譲らない輩」と「譲れない輩」についてもいえる。些細な事柄で「譲り合えない」人たちの騒動が新聞紙上をにぎわしている。幼い頃に読んだ、谷間にかかる細い架け橋の上での譲り合いに根ざすイソップ物語（童話）の教訓を示したい気分になる。
- 最近の歩道では、自転車の乱暴な運転が目立つ。子供の場合は、その殆どが親の躰けによるのであろうと推察されるが、若い母親が歩道を子供を乗せて我がもの顔で突っ走る姿に、動物へ退化している姿が重なる。
- 「獨を慎む」は中国古典『大学』での教えであるが、最近の定年退職を迎えた人たちが、当然の権利とばかり、朝から集団あるいは夫婦で遊びに耽る姿をみると「恥」に疎くなっていると身につまされる思いがある。人間は「人の間でしか生きられない」ことに配慮すると、何歳になっても人のお役にたつことを率先すべきであろう。
- 女性の羞恥心が無くなったのか、あるいは躰け教育の無さか、判らないが、乗り物の中や公衆の面前で化粧をする姿を見かけることが多くなった。それも堂々と平然と化ける種明かしを見せてくれる。三浦（2010）は、この事象を二・二六事件の折の戒厳司令部の「下士官に告ぐ」になぞらえて、「今カラデモ遅クナイカラ素顔ニ返レ、オ前達ノ父母兄弟ハぶすニナルノデ皆泣イテイルゾ」と一人で笑いを醸している。（*三浦朱門．老年の品格．海竜社，2010）．．．．．名和田 潜



Newsletter 編集：

後藤昌司・松原義弘・坂本 亘・富金原 悟・河合統介・藤澤正樹・杉本知之・大門貴志・伊藤雅憲・吉川隆範

連絡先：医学統計研究会 事務局 [吉田 舞・後藤 孚]

〒560-0085 豊中市上新田2丁目22-10-A411号

Tel & Fax : 06-6835-8790 / e-mail : bra_goto@ybb.ne.jp / URL: <http://www.bra.or.jp>

本ニューズレターの転載は全文・部分を問わず禁止させていただきます。